

江戸川河口だより

出張所だよりは江戸川河川事務所のホームページ
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa>) に掲載しています

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
江戸川河口出張所発行
電話03-3679-1460
2014年7月1日【第50号】

平成26年5月 行徳可動堰本体がリニューアルしました！！

平成23年3月より工事を開始した、行徳可動堰本体のリニューアル工事が本年5月に完了しました。行徳可動堰は完成から50年以上経過し、老朽化が進んでいました。また、大きな地震に対して十分な強度がないことも判明しました。

そのため今回の工事では老朽化したゲートの交換、地震に強い構造に改良することによって、洪水を安全に流すことや飲料水確保のための塩分遡上防止が確実にできるようになりました。

今後は引き続き、千葉県と共同事業化した行徳橋の架け替え工事を進めていきます。



(整備前)

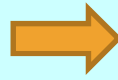


(整備後)

【行徳可動堰の全景】 整備後も景観があまり変わらないように配慮しています。



(整備前)



(整備後)

【ゲートの更新】 ゲートは構造を変えて、全く新しいものにしました。



ゲートを支える柱の鉄筋量を増やし、地震に強い構造にしました。



従来よりもコンクリートを厚くし、地震や塩害に強くしました。



ゲートを引き上げる機械(巻上機)も更新しました。

《工事のようす》



まず、仮の締切りゲートを、堰の上下流に沈めます。



漏水に注意しながら旧ゲート周りの水を抜きます。



古いゲートを切断し、クレーンでつり上げて撤去します。



既設のコンクリートにあなを開け、表面をはつります。



耐震補強材として鉄筋を挿入します。



表面に新たなコンクリートを打設して補強します。



新しいゲートは細かなパーツに分けて陸上輸送します。



陸上のヤードで上下のパーツを合わせます。



すべてのパーツを一体化、塗装して完成です。

江戸川河口出張所構内に行徳可動堰旧ゲート展示スペースが誕生！

昭和32年の稼働開始から平成25年まで50年以上働き続けてきて、役目を終えた旧ゲートの一部を、江戸川河口出張所構内に展示しています。

行徳可動堰の旧ゲートは、1つの大きさが、長さ30m、直径3.5mで、重量は120tありました。このゲートは円形の筒状のゲートが回転しながら昇降する鋼製ローリングゲートで、構造が非常に珍しいものです。

「鋼製ゲート百選」にも選定されていて、歴史的にも、技術的にも貴重な土木遺産と言えるでしょう。



～ お近くにお越しの際は是非見学にお立ち寄り下さい ～

今回は行徳可動堰リニューアル工事の特集しました。久しぶりの発刊となりましたが今後も各種情報を提供して参りたいと思います。河川に関する皆様からのご意見や情報がありましたら、江戸川河口出張所までご連絡ください。

『江戸川河口だより』編集長 江戸川河口出張所長